

2015年認定



高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム

宮崎県高千穂郷・椎葉山地域

森林保全管理が生み出す持続的な農林業

森林に囲まれ平地が極めて少ない環境下で、人々は針葉樹による木材生産、広葉樹を活用したしいたけ生産、高品質の和牛生産、茶の生産、棚田での稲作等を組み合わせて生計を立ててきました。標高の高い傾斜地で農業用水を確保するために建設された山腹水路は500kmにも及び、用水供給のほか、斜面を流れ落ちる雨水を受け排水することで、周囲の集落を災害から守る役割を果たしています。

また、地域に伝わる伝統文化「神楽」は、五穀豊穡などを願う神事の舞踏です。現在もほとんどの集落で神楽が奉納され、厳しい山間地で暮らす人々が生活の安定を願う祈念の場として大切に受け継がれています。

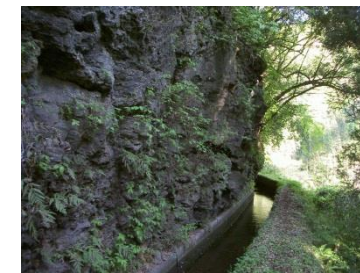


伝統文化「神楽」



【モザイク林相】

土地の特性に合わせて、用材生産のためのスギやヒノキの針葉樹林、シイタケ栽培用の落葉広葉樹、天然林として残す照葉樹林と植生を細分しています。その結果、モザイク林相の景観が生まれました。



山奥から水を運ぶ
山腹水路網

